

自動車避難訓練 東北大学

東北大学 災害科学国際研究所 杉安先生

資料待ち

第5回 津波災害時における自動車避難検討部会

3 協議

- (1) 自動車避難訓練の課題等について
- (2) 津波災害時における自動車による避難ガイドラインに掲げた対策の進捗状況について

(1)自動車避難訓練の課題等について

いわき市

- ・現役世代の防災訓練への参加
- ・全体的な参加者数を増やす取組み
- ・従道路から主道路への侵入方法
- ・徒步避難者の道路横断への誘導方法

磐城国道事務所

- ・浸水区域外の信号による車列
- ・幅員矮小への対応

福島県警察

- ・ランドマーク・シグナル実証実験の継続
- ・訓練時、エリアメールの活用によるランドマーク・シグナルの周知
- ・訓練時、交通管理センターから遠隔で信号機を点滅運用にすることを検討
- ・県内全域のランドマーク・シグナル対象信号機について、遠隔で点滅運用にすることが可能となる集中制御(交通規制エリア)化を検討

(2) 津波災害時における自動車による避難ガイドラインに掲げた対策の進捗状況について

○原則徒歩による避難の徹底

周知方法	現状	今後の進め方
① 津波ハザードマップ(H26.11に沿岸部各世帯に配布)や、防災マップ(H26.11に市内全世帯に配布)の再確認	9月24日、30日に実施した市総合防災訓練及び11月18日に実施した市原子力防災訓練時に、参加者にマップの周知を図るとともに、出前講座等において説明している。	引き続きあらゆる機会を捉えて周知に努める。
② 今後、避難所等の見直しに加え、当検討部会での決定事項(500mの範囲・浸水想定区域の境界にあるランドマーク(目印)の記載等)を既存のマップに記載し、市ホームページで公表	「津波災害時における自動車による避難ガイドライン」を市ホームページに掲載し、津波避難場所等の高台から半径500mの範囲は周知済。 浸水想定区域境界にあるランドマーク(目印)については、現在抽出作業中。	浸水想定区域境界のランドマーク(目印)が決まり次第、防災マップ等への反映方法について検討する。
③ 運転免許証の更新時等において、ドライバーに対して徒步避難原則の徹底を周知	福島県警察本部及び市内警察署と協議中。	引き続き協議する。

○自動車による避難

短期的対策	現状	今後の進め方
① 津波浸水想定区域境界付近のランドマーク(目印)の設定	津波浸水想定区域境界付近の目印となり得る施設や交差点名の抽出作業を実施中。	
② ランドマークシグナル(区域内信号機の点滅運用)の検討	9月24日の市総合防災訓練時の取組結果を踏まえ、福島県警交通規制課において効果、課題等の検証中。	引き続き訓練と合わせて実施しながら、効果的な運用方法を検討する。
③ 広域避難場所(21世紀の森公園、いわき公園)を含む、浸水想定区域外で駐車スペースが確保できる場所の選定	対象となる場所の抽出作業中。複数の民間事業者と協議中。	抽出作業後、施設所有者等と具体的な協議を行うとともに、協議中の事業者との協議が整い次第、協定等の締結を進める。
④ 津波浸水想定深を踏まえた、立体駐車場等の活用検討	対象となる場所の抽出作業中。複数の民間事業者と協議中。	抽出作業後、施設所有者等と具体的な協議を行うとともに、協議中の事業者との協議が整い次第、協定等の締結を進める。
⑤ 既指定の津波避難ビル以外の民間施設等や、沿岸部に新たな高台を津波避難場所として指定することの検討	対象となる場所の抽出作業中。複数の民間事業者と協議中。	抽出作業後、施設所有者等と具体的な協議を行うとともに、協議中の事業者との協議が整い次第、協定等の締結を進める。

○自動車による避難

短期的対策	現状	今後の進め方
⑥ 自動車による避難を踏まえた「避難誘導サイン」の検討	自動車運転手に視認できる避難誘導サインの在り方について検討中。実際の整備に向け、現在復興庁と復興交付金の活用について協議中。	引き続き復興庁と協議し、来年度以降、現地調査や表示内容の検討を行う。

(2) 津波災害時における自動車による避難ガイドラインに掲げた対策の進捗状況について

長期的対策	現状	今後の進め方
① 踏切の遮断による避難ルートの検証	JRと協議中。	引き続き協議する。
② 現在の津波浸水想定区域については、市独自の暫定版であることから、今後、県が津波防災地域づくり法に基づいて定める津波浸水想定区域が公表された後、「市津波避難計画」の策定及び沿岸各地での「地区防災計画」の活用により、地区独自のルール(ローカルルール)を定めることとし、そのルールづくりにおいて、具体的な「避難行動要支援者への対応」や「自動車による避難ルート」などの検討を行う。	津波防災地域づくり法に基づき定める津波浸水想定区域については、現在福島県において検討中であるが、沼ノ内地区において要配慮者の避難支援を目的に作成している「隣組マップ」を参考に、「地区防災計画」へ発展させられるよう支援している。	県の動向を確認するとともに、するとともに、沼ノ内地区の取組みをモデルとし、市内沿岸部に波及していく。

第5回 津波災害時における自動車避難検討部会

4 その他

- (1) 来年度の自動車避難訓練の候補地
- (2) その他

(1) 来年度の自動車避難訓練の候補地

原則徒歩での避難行動範囲
である500mの円の無い場所を選定した訓練を予定。

【第4回検討部会資料より抜粋】

なお、近隣に高台がなく徒歩避難が困難な地区（小名浜アクアマリンパーク周辺や岩間、佐糠地区等）については、

今後、地区住民や関係機関等と協議しながら避難訓練の実施方法について検討していく。

